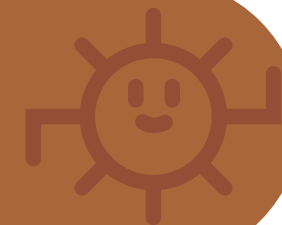


06

製造工場の空調設備への 電動水冷チラーの導入



24時間休みなく運転している電気炉をもつこの工場では、数年前にコージェネレーションシステム(CGS)を導入し、工場内の電力需要の大半を自給していました。また、CGSからの排熱を利用して、工場の空調にも利用していました。

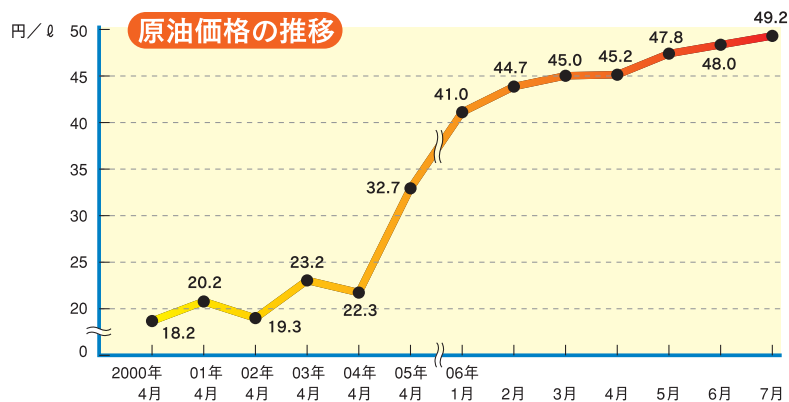
最近の重油価格高騰の中、ランニングコスト低減を目的に、CGSが以前担っていた電力需要を電力会社からの供給とし、CGSは停止、空調用には電動水冷チラーを導入、万一の停電による電気炉の停止を防ぐためCGS1台は、非常用として残すという運用にしました。この結果、大幅なランニングコストの低減につながりました。

改善効果

- 熱源転換により、大幅なランニングコストの低減につながる
- CO₂排出量削減にも寄与する

設備概要

- 電動水冷チラー 500kW×1台
- CGS 500kW×1台
(非常用として運用)



出典:財務省、通関統計(日本到着価格1ℓ当り:小数点第2位四捨五入)

